



多摩・島しょ

history of tama & tōsho

とっておき歴史発見

第28回 青ヶ島村



身近な場所で歴史を発見！今回はわたげのボクが『還住の碑』と『ひんぎゃの蒸気』を紹介するよ。

かん じゅう 還 住 の 碑



1785(天明5)年頃、大規模な噴火による全島民避難で、青ヶ島は無人島になってしまったんだ。多くの苦難を乗り越え、約50年後、当時の名主であった佐々木次郎太夫によって、生き残ったすべての島民が島へ帰還することができたんだよ。その歴史を「還住」と呼び、この還住の碑は、島民を導いた名主の想いを表した像なんだ。



ひんぎゃの蒸気



島言葉で「ひんぎゃ」と呼ばれる地熱蒸気の噴気孔群が見られるよ。硫黄の成分がほとんどないめずらしい蒸気だから、昔から調理に使ったり、体を温めたり、身近な存在なんだ。外輪山の内側にある池之沢地区では、誰でも使える地熱調理窯やサウナ施設、製塩手法として活用されていて、電気やガスが普及した今でも大切に使われているよ。

【現地案内】

〈青ヶ島へのアクセス〉

青ヶ島へは、都心からの直行便がないため、八丈島経由となります。

〈航路〉

竹芝桟橋から八丈島まで、「大型客船」(東海汽船)で約10時間20分

八丈島から青ヶ島まで、「くろしお丸」(伊豆諸島開発)で約3時間

〈空路〉

羽田空港から八丈島空港まで、飛行機(ANA)で約55分
八丈島から青ヶ島まで、ヘリコプター(東京愛らんどシャトル)で約20分

【情報・写真提供】 青ヶ島村総務課 04996-9-0111 (代表)



本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。 問合せフォーム▼

【発行日】2023年7月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】小暮 実
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068
ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています